

2001年10月

マークII

トヨタ

市販化への秒読み開始  
マークIIワゴン疾走！！



[zoom](#)

スクープカメラマンから寄せられた貴重なワンカット。6月号で報じた確定フォルムと同じ外観シルエットが確認できるだろう。スラントしたCピラーとリアドア開口部はマークII（セダン）ゆずりだ。

国産スポーツワゴンを3車まとめてスクープし、「三番勝負」をお楽しみいただいたが、ここで番外編として、さらにもう1台、スポーツワゴンの勇姿をお届けしておこう。クルマはマークIIワゴンだ。既報のとおり、このクルマは東京モーターショーに参考出品車として姿を見せ、いよいよ市販が近いことを来場者に暗示する。

現行クオリスはFFレイアウトを採用し、実用性の高いカムリ・グラシアと兄弟関係にあったが、グラシアはすでに消滅。ベースを失ったマークIIワゴンは思い切った方向転換で、FRスポーツワゴンへと生まれ変わることになった。ちょうど、クラウン・エステートの弟分とでも言えばわかりやすいだろうか。もちろん、ターゲットは10月16日に世代交代を果たしたばかりの2代目ステージアだ。

ステージアはモデルチェンジを機にV6エンジンが新搭載され、プラットフォームも一新された。これに対抗するマークIIワゴンはセダンと同じ直6エンジンを採用し、1JZ-GTE型2.5リットルターボもラインナップ。280ps / 38.5kgmの余裕あるスペックが高速クルージングを快適なものにしてくれるはずだ。このほか、1JZ-FSE型2.5リットルD-4（直噴）と、熟成の域に達している1G-FE型2リットル直4がカタログを飾るだろう。なお、レジャーシーンの幅が広がる4WD車には1JZ-GE型2.5リットルが搭載される予定だ。

新マークIIワゴンは先述のとおり、東京モーターショーでおとなしく展示されるが、上に掲載したように開発現場では精力的に走行テストが行われている。最終段階で設計変更が生じたのか、当初予定されていた11月デビューは02年初頭に持ち越されるとの新事実も判明。ステージアとの真っ向対決が、いまから待ち遠しいゾ！



[zoom](#)

現行クオリス  
カムリ・グラシアの兄弟車として97年に登場したクオリス。FF方式のラグジュアリーワゴンとして人気を呼んだ。

### 直6パワーがみなぎる走りっぷり



[zoom](#)

ブレーキランプ点灯時をとらえたショット。擬装カバーへの反射から、高い位置にテール&ストップランプが設置されているのがわかる。



[zoom](#)

6月号に掲載した確定フォルム。マークIIセダンとは異なるマスクも他誌に先がけ、いち早く報じた。

[戻る](#)







